

SAIJO

WAY 2020-21

Annual Report

西条市ローカルベンチャー誘致・育成事業
2020年度報告書



SAIJO WAY 2020-21 Contents

4 数字で見る 2020 年度の成果

6 2020-21 6 つのトピックス

8 起業家レポート（前編）

1. 安形 真 一般社団法人リズカーレ／代表理事
愛知県出身／任期：2018年3月～2021年2月
2. 上田公彦 西条アウトドアサービス／アウトドアガイド
熊本県出身／任期：2019年3月～2022年2月
3. 大須賀一仁 大須賀企画事務所／東予人プロジェクト 代表
大阪府出身／任期：2019年3月～2022年2月
4. 古賀あつみ いまここ健康生活 Lab／ヨガ・セラピスト
神奈川県出身／任期：2018年3月～2021年2月
5. 鈴木直之 ZENTECH
大阪府出身／任期：2019年3月～2022年2月
6. 仙石 一大 INFINITY PEAKS／代表
山口県出身／任期：2019年2月～2022年2月

14 地域の声 “がんばれ起業家たち！”

安田 光孝さん・池田 広美さん・山本 ちさとさん・山内 政志さん
村上 陽一郎さん・高本 安友美さん・今井 博志さん・平野 克政さん

16 起業家レポート（後編）

7. 高田 裕明 AKI's KITCHEN／店長
東京都出身／任期：2018年3月～2021年2月
8. 田村 裕太郎 合同会社さとらいふ／Sports Activity Community Director
新潟県出身／任期：2019年4月～2022年4月
9. 長尾 愛里 cuddle／Food director
岡山県出身／任期：2018年9月～2022年9月
10. 野口 あすか ららジュース／店主
西条市出身／任期：2019年3月～2022年2月
11. 山中 康寛 delifit／おいしいと健康を AI する人
松山市出身／任期：2019年11月～2022年10月
12. 山中 裕加 Hinel／代表
松山市出身／任期：2019年5月～2021年3月 退任

22 巻末コラム わたしと西条

豊かな自然と産業基盤と、
人間らしい豊かな暮らし。
西条市にあるこれらをベースに、
私たちはここで、新たな仕事をつくっています。
事業を軌道に乗せるために
周囲の力を得ながら奮闘する者、
地域の一員として、コツコツと根を張る者、
新しい技術やビジネスに挑む者。
さまざまなメンバーが、このコロナ禍の1年も
ここ西条を拠点地として活動しました。
この冊子は、そんな私たちの1年間の活動記録です。



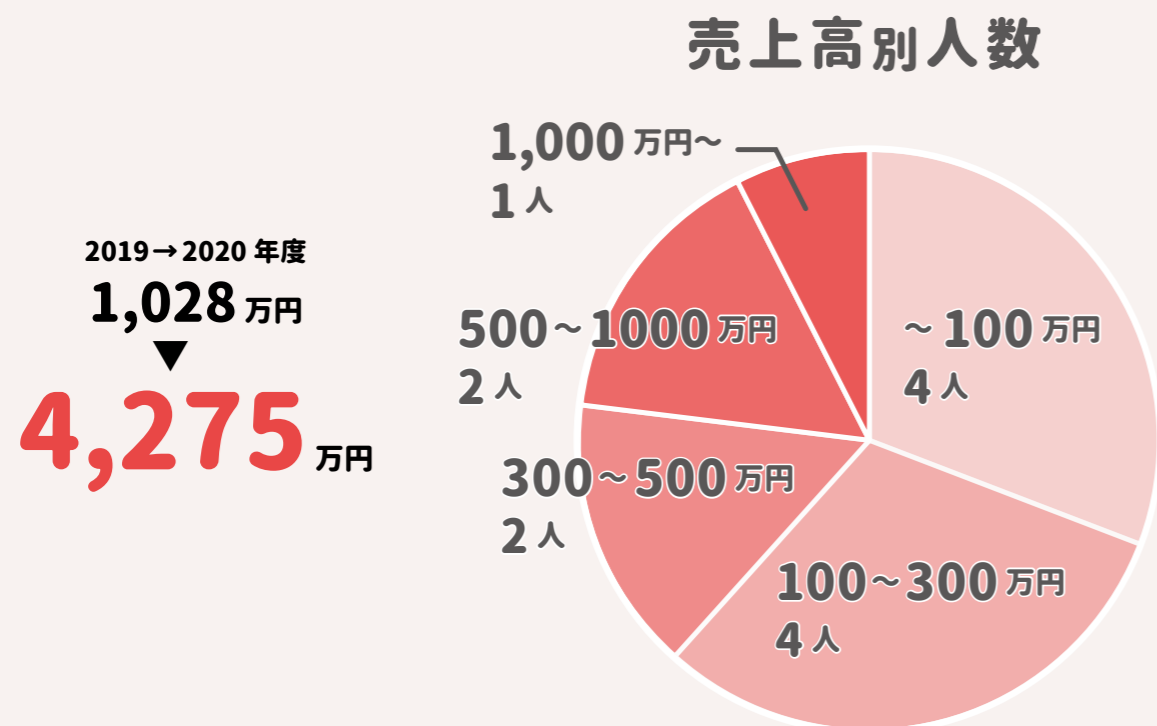
昨年度の報告書はこちら

数字で見る2020年度の成果

昨年度との比較をしながら、4つの数字で2020年度の成果をお伝えします。私たちが目標としているところは、13人が生計が立てられるくらいの売上を作り、継続的な活動により西条市に長期にわたりインパクトを与えていくことです。その過程としての1年間を振り返ります。

売上は13人全体で約4倍に

SALES



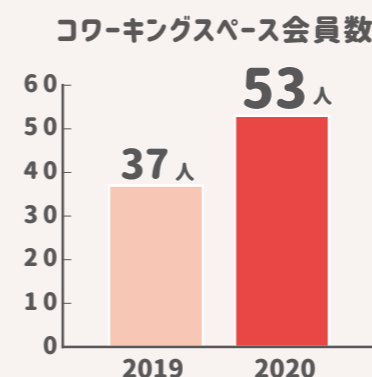
数字の面では昨年度の4倍以上になり、コロナ禍で積極的に動きづらくなっている中で各自奮闘した。内訳を見ると上記円グラフのようになっていて、売上規模ではかなりばらつきがある。事業の種類によって自立可能な売上規模は違う

ため一概には言えないが、およそ半数以上は現時点で自立可能と言える。売上上位メンバーはある程度のビジネスモデルが出来上がっており、毎月定期的に売上が上がる体制が整ってきた。下位メン

バーはまだ商品やサービスをテスト的に市場に投入し改善をしている段階の者が多い。当初の目標どおり、2年目終了時点での売上目標4,000万円を達成したことで、来年度の売上目標1億円が見えてきた。

挑戦者コミュニティ 1.4倍に規模拡大

COMMUNITY



コロナ禍でテレワーカーが増えたことや、全国のコワーキングスペースの運営者と繋がったことで、地域におけるコワーキングスペースの価値を再認識した1年となった。市外・県外から西条にリモートワークをしに来る人たちは、地元のユニークな人たちと繋がりがっている。そのため、55人のチャレンジャーのプロモーション動画を制作し、コロナ

対策を厳重に行ったうえで県外からワーケーション利用者を22人誘致した。



動画はこちら

2020年8月末には、「紺屋町 dein」に続き2軒目となる「サカエマチ HOLIC」をオープンさせ、ドロップイン（誰でも時間単位で利用できる仕組み）と法人会員と学生会員の受け入れも開始した。

メディア掲載数は約3倍に増加

PUBLICATION



情報発信を行う目的は2つ。1. 公的な資金を基に活動をしていることから、活動の透明性を担保し説明責任を果たすこと、2. メンバーのビジネスに繋げていくことだ。そのため年に2回の活動報告会と、随時 SNS や各種メディアでの情報発信を行っている。各メンバーの活動が活発になってきたことから、情報発信ができるネタが増え、頻度も

向上した。SNS 発信は全体で月に20回以上を目標に運用していて、メディアに取り上げてもらうためのアクションも昨年より増えた。露出はフリーペーパーをはじめとする地域メディアが中心だが、新聞、ラジオ、テレビといったマスメディアへの出演も増加中で、その影響力を実感している。

拠点数は8つに (キッチンカー含む)

BASES

- 紺屋町 dein
- XIUcafe Viet-Nhat
- さとらいふ事務所
- サカエマチHOLIC
- 東予人
- 古民家いまここ
- ららジュース
- AKI's KITCHEN

NEW!

まちの変化が目に見える形でわかる「拠点」の数。昨年度のコワーキングスペース「紺屋町 dein」、ベトナムの拠点「XIUcafe Viet-Nhat」、大保木地区の「さとらいふ事務所」に加え、今年度は新たにコワーキングスペース「サカエマチ HOLIC」、ツアー・物販の拠点「東予人」(大須賀)、ヨガ教室「古民家いまここ」(古賀)がオープン。そ

こにキッチンカー「ららジュース」(野口)と「AKI's KITCHEN」(高田)が加わった。他にもフジグラン西条店や、モンベルアウトドアオアシス石鎚などに商品の販売所を設置することができたことで、地域住民も西条市の各所でローカルベンチャー事業の広がりを感じることができるようになってきている。

コロナ禍だけど、たくさん動きました。

2020-21 6 Topics

2020年度を代表するような、全体的なトピックスをテーマ別にご紹介します。

Topic 1



コロナ禍でも 前向きに奮闘!

全体としてはコロナ禍で集客しづらく苦戦した1年であったが、持っているスキルや地域との連携で価値を生み出し仕事を創っていった。春先にはオンライン会議の需要が高まったことから、「zoom」を利用した「オンライン会議の始め方」や「インターネットビジネスの始め方のセミナー」などを真っ先に開催。また、売上が減少した飲食店や生産者を支援すべく「デリサボ西条」を立ち上げ、テイクアウト支援や特設売り場の設置など（長尾）や、「西条やさい便」で都市部向けに西条産の野菜や果物を発送する取り組み（高田）を行った。他にもスポーツ用マスクのクラウドファンディングが成功したこと（仙石）、アウトドア需要が増加したこともあり、西条にさまざまなアウトドアアクティビティを生むことができた（上田、大須賀、田村、安形など）。

Topic 2



挑戦者の生態系 繋がりが大きく拡大

挑戦者の生態系を作り出す場として、「紺屋町 dein」と「サカエマチ HOLIC」の2つのワーキングスペースを作った。今回はその中でも面白い取り組みを紹介する。まず「紺屋町 dein」の「学 dein」。スキルがある人が講師を務め、興味がある人が参加し学び・成長するセミナー形式の場だ。「SNSに使えるスマホ講座」「グラフィックレコーディング講座」など毎月1回、通算16回開催。今後も講師・参加者双方が成長できる場として継続する。そして、サカエマチ HOLIC が中心となった「変化よ、かかってこい！」動画。西条市内55人のチャレンジャーに、取り組み内容や今後の目標をインタビュー。この、西条の挑戦者が集まっている動画は現在 YouTube

で2,000回以上再生されている。

動画はこちらから→



Topic 3



安形、高田、古賀、篠原、山中(裕) 3人が卒業、2人が退任

コーディネーターの安形と高田、いまここ健康生活 Lab の古賀が任期満了に伴い、地域おこし協力隊を卒業。HUB VIETNUM プロジェクトの篠原と LOCAL PRODUCTION プロジェクトの山中は任期途中での退任となった。5名は全員西条に残り、今までの取り組みを軸に事業を継続していく。

Topic 4



SAIJO SOUPで コミュニティ拡大

まちを良くするプレゼン大会「SAIJO SOUP」を8月と12月に開催。やりたいことがある計10人の発表者と、のべ130人の応援者を発掘。12人のボランティアでこれらのコミュニティを作っている。運営は、メンバーの鈴木のZENアプリを使って、市民からの寄付を募る形で行っている。

Topic 5



メンバー4人が 市内高校の教壇に!

西条高校では、大須賀が「西条の魅力を見つけて活かしていく」、鈴木が「西条市でありがとうファンディングが始まります」、田村が「西条の山奥でなぜ活動しているのか?」をテーマに話した。東予高校では、長尾氏が商品デザインをテーマに学生と双方向の授業を行った。

Topic 6



2年目だからできた 地域事業者とのコラボ

自然の中でヨーガができればと考えていた古賀、地域の果物ジュースを販売する野口、そして果物農家の金光さん。3人が仲良くなったことがきっかけで、コラボイベントを開催。参加者からは「体と心と舌で味わう体験はとても贅沢な時間でした」との声。今後もメンバーの強みを生かし、地域と協働できるコラボを続けていきたい。

「挑戦」をキーワードにしたまちづくり

今年の活動内容は、①ローカルベンチャー事業（全体統括）、②コワーキングスペースの運営、③西条市内の起業支援、④ワーケーション事業、⑤各種イベントの5つです。

①は当冊子に登場する各起業家個々の活動に伴う事務局的な仕事や支援だけでなく、市の掲げる目標に向けて全体の進捗管理をする役割をしています。

②は既存のコワーキングスペース「紺屋町 dein」に次いで「サカエマチ HOLIC」をオープンしました。紺屋町 dein は交流・イベントを、サカエマチ HOLIC は集中・創造と役割分担。後者は現在、法人や学生の利用が多いです。

③は西条市と(株)西条産業情報支援センターの委託事業で西条市内を対象

に起業・創業を目指す方をサポートするもので、起業セミナーや個別相談を無料で行っています。

④は愛媛県の委託事業で、コロナ禍で増加したテレワーカーに、愛媛県のコワーキングスペースを活用してワーケーションに来てもらおうという事業です。コロナ禍で人の行き来が難しい中でも、正味4か月で22名のご参加をいただきました。

⑤は市内の挑戦者を応援するプレゼン大会「SAIJO SOUP」を企画し、10名を超えるボランティアとともに、10万円近い寄付金を挑戦者に仲介しました。他にも焚き火や飲食イベント等、緩やかに好きなことを仕事にしていきました。

私たちリズカーレは「挑戦」をキーワードにしたまちづくりを今後も西条市

わたしの数字

120万円→1,000万円

ローカルベンチャー事業以外の売上

54人

コワーキングの動画作成に協力してくれた人数

で展開します。中でも取り組みたいのが、社会課題解決を行う挑戦者の支援です。なんとなくではなく、課題や期間、エリア等を明確にし、解決すると地域社会はどうなっているのか、仮説をもって取り組む事業者に「ヒト・モノ・カネ」が集まる仕組みを作りたいと思っています。

また私事ですが、今年の夏に子どもが生まれる予定です。子どものためにより良い状態の西条を引き継いでいけるようなまちづくりをしていきたいと思っています。



圧倒的なスピード感と事業構築

一般社団法人リズカーレ 代表理事 安形 真

アウトドアガイド＋一次産業の、持続可能な環境づくり

アウトドアガイドとして、カヤック SUP 体験会のガイドをやっています。

2020年の夏は300人くらいのお客様にご利用いただきました。1回の体験会につき、1グループ1家族に限定したことで、お客様が自分なりののんびりとした時間軸で体験していただき、小さなお子様やおじいちゃんおばあちゃんと一緒に家族での夏の思い出づくりのお手伝いすることができました。

世界的に今後、飲料水問題が深刻化していきます。一方、他地域の方だけでなく地元の方にも喜ばれる、きれいで癒しや遊びの場と与えてくれる加茂川をはじめとして、西条は非常に水環境に恵まれています。こういったいろいろな水の保全や、まちからふらっと行け

る里山の森の中で、ハンモックなどでのんびりできるようなハイキングコース整備のための活動も行っています。具体的には、西条で課題となっている放置森林の伐採活動や森林公園の整備、シカの生態調査として愛媛や高知の山を駆け巡るような仕事などです。

西条には当たり前にある、山・川・海って大きなサイクルで繋がっているの、「生活のため」っていう視点でも、「気持ちのいい遊び場」っていう面でも、このまちの自然を20年・30年・50年後も残していけるように整備していければいいなと考え活動しています。

また、1月から3月の西条って里芋の収穫最盛期ってご存知でしたか。農業も行ってありますが、冬のやさしい日差しの下で土をいじりながら作業するの

で、とっても気持ちがいいんです。将来的には農家の収穫のお手伝いもひとつの楽しいアウトドア体験としてご紹介していければと思っています。

わたしの数字

0人→300人

カヤック SUP 体験会に来ていただいたお客様の人数。時間帯や、ご希望に応じた過ごし方を提案しました。

実感するのは、コロナ以降、自然やアウトドアの需要って確実に高まってきているということ。心地よく人生を過ごすための、新たなライフワークバランス、農林水産業(水はカヤックやSUPで笑)。自分が体感した良さを共有するように、いろんな視点や切り口で仕事も遊びも提案していければと考えています。



農林水産的ライフスタイル

※水はカヤック(笑)

西条アウトドアサービス アウトドアガイド 上田公彦

人を軸にしたアクティビティ事業×地域商社事業

2020年5月に拠点を登道商店街に開設し、自転車などの身近なアウトドアスポーツを中心にしたアクティビティ事業と、西条市や周辺地域などの資源を商品化・販売する地域商社事業に取り組んでいます。2つの事業は、一見別のことのようですが、高い関連があります。従来型観光の「旅行者」ではなく、「旅人」のためのパーソナルツーリズムを展開することで、地域の魅力を「人」を通してじっくり味わい、再訪したい・住んでみたいと思っていただく。アクティビティは、地元の人・産物・産業などの資源に触れる手段の一つとしても機能するんです。大阪の岸和田市から西条市に移って2年。本業の編集者としての経験を活かして、とにかく人のお話をうかがい、

一緒に地域の魅力を再編集してきました。市という行政区に縛られず、東予といった文化域や石鎚山系などの地勢域にも視軸を向けると、より深い足元の魅力が見えてきます。西条市や久万高原町の林業資源を活かすウッドプレートなどの木工製品と、砥部町で復活した日本最古の砥石、石鎚山麓の土佐刃物のナイフを組み合わせ「石鎚山系のアウトドアツールたち」は、アクティビティ参加者にとどまらず、大阪の包丁専門店などから国内外への販売も始まっています。また、フィールドで欠かせない、スキンケア商品も試作品がまもなく完成します。こちらには愛媛県産の柑橘などの天然由来成分を使用。大阪のメーカーに製造販売の提携をいただき、関

西のアスリートのみなさんと一緒に販路拡大する仕組みも整えています。

わたしの数字

500枚→800枚

お会いして交換した名刺の数

0→50,000

拠点のGoogleマップ年間PV数

まもなく、地域商社としての法人を立ち上げます。無理のない量をていねいに、商流が仕組みとして機能することで変化に対応しながら継続できる事業を目指します。

移住してきたぼくたちを支えてくださる地元の方を、振り回すことのないようにしながら、みなさんの事業と一緒に地域を盛り上げていくことを大切にしていきます。



「人こそ魅力」をオモロく仕掛ける

大須賀企画事務所 / 東予人プロジェクト 代表 大須賀 一仁

自然環境を活かした健康づくり



西条の自然の中で、心と体を感じて健康に♪

いまここ健康生活 Lab ヨーガ・セラピスト 古賀 あつみ

(作業療法士/ヨーガインストラクター/心理カウンセラー)

こんにちは！いまここ健康生活 Lab の古賀あつみです。私は2018年に、横浜市から西条市へ移住しました。西条市とは縁もゆかりもなかったのですが、素晴らしい「自然」と「人」に魅せられて、気がついたら移住していました(笑)。そして、「この西条の自然の中で、この地に住む方々とともに健康に関わる仕事がしたい！」と想い、着任後3年間活動。現在は、東予地区の庄内というまちの、自然を感じる古民家で、「いまここヨーガ教室」を定期的で開催しています。また、「自然」×「健康」をテーマにしたイベントや、リトリートツアー(楽しく健康になる旅行商品)の企画・運営や、月に1度は西条市や近隣の市に住む農家や料理家の方々とコラボして「農園ヨーガ」

や「音とヨーガ」、「薬膳×ヨーガ」、「地球歴×ヨーガ」の開催もしています。最近では、西条市内の企業さまとご縁を頂くことも多く、従業員たちの健康管理を経営的な視点で実践する健康経営の取り組みとして、ヨーガの研修や教室のインストラクターも務めています。新型コロナの感染拡大をきっかけにオンライン化も進め、オンラインヨーガやオンラインカウンセリング、オンラインサロンの運営も始めました。これら全ての活動を通して、「自分を感じる、自分のための間」を体感していただき、多くの方に「健康」で「幸せ」になってもらえるようなお手伝いのできる存在になりたいです。今後も、古民家で「いまここヨーガ教室」を運営しながら、この西条市の自

然をもっと生かしたイベントや、リトリートツアーを実現します。また、地域にお住まいの多くの方々と交流を通して、「健康」をもっと素敵に、もっと楽しく広めていけるように、企業や街のイベントなど、さらに色々な場面で活動していきたいと考えています。いつかは「西条市で『健康』といたら、『いまここ』へ行こう！相談しよう！」と想起していただけるように、懐の広い「健康コミュニティ」を構築していきたい。これが、今の私の想いです。

わたしの数字

0回→240回

ヨーガ教室開催数です！拠点の古民家や、オンライン、企業などで constants に実施しました！

アプリを使った寄付の仕組みづくり

スマホを使った新しい寄付のプラットフォーム「ZEN arigato funding」の企画・開発・運営をしています。約1年の実証テスト期間を経て、2020年10月にアプリをプレリリース、11月に本格的にリリースしました。「ありがとう」のメッセージを送るだけで、地域で活動している個人や市民団体に寄付のお金が回り、まちの人たちが気軽に支援できる仕組みです。僕が2年前に大阪から西条市に移住してきた時、地域のために何ができるのか真剣に考える過程で、まちを良くしようと頑張っている人たちに沢山出会いました。皆さんボランティアで活動していて、とても大変そうだったし、特に「おカネ」と「ヒト」の問題は、常につきまとう問題でした。そんな状

況を見て、自分自身が何か西条市のために頑張るのではなく、むしろすでに活動している人たちやこれからの人たちを支援することで、この地域を良くしていくことができるのではないかと気づきました。それを自分が得意なITという技術を使って実現できるのではないかと考えたのです。ITを使った活動資金集めは、すでに「クラウドファンディング」と呼ばれるような仕組みもありましたが、もっと手軽で日常的で、そしてもっと人々の繋がりを生み出していくような仕組みを作りたいと思いました。たくさんの試行錯誤の末、辿り着いたのが、「ありがとうのメッセージを送るだけで地域の市民活動団体に寄付できる」というコンセプト。この3月末時点で

160名の個人ユーザーと、19の市民活動団体に登録していただいている、「ありがとう」が送り合われています。

わたしの数字

0円→**228,800円**

10月～12月で集まった寄付金額

0回→**36回**

アプリのバージョンアップ回数

これからは、とにかくもっとサービスを分かりやすく、使いやすくして、もっと多くの方々に利用していただき、より多くの団体を支援できるプラットフォームにしていきたいです。将来的には西条市だけではなく、同じような地域課題に取り組む市区町村とも連携して、地方から新しい流れを作っていきたいと考えています。



寄付をもっと楽しく日常にする

ZENTECH 鈴木 直之

アウトドアスポーツ用プロダクトの開発から販売を一貫で



スポーツマスクを作りました！

INFINITY PEAKS 代表 仙石 一大

現在は、今年発売の以下の①～④のアイテムの最終調整や商品開発を行っています。

- ①スポーツ用アンダーウェア
- ②登山/クライミング用パンツ
- ③厳冬期用ソックス
- ④新素材（フリース代替素材）によるミドルレイヤー（中間着）

元々、最新の材料やテクノロジーが好きで、暇があれば永遠に繊維協会や会社のホームページを読んでいるような人間なのですが、2020年にマスクで使った生地を大幅にアップデートした生地や、新しくデザインされた機能性素材、NASAで使われている技術などにさらに着目し、西条市内のスポーツ施設やフィールドで商品開発と素材のテストなどを行っています。大手メーカーの帝人、クラレ様

から特殊な素材をご提供いただいたのですが、そちらを今年こそ生かされるよう尽力しています。

今後はと言っても直近ですが、発売

わたしの数字

600→**4,100**

商品販売点数の昨年対比。20年度販売の多くが、スポーツマスクでした。クラウドファンディング協力者・ご購入者様に感謝です！

予定のアイテムが先述の4つ、さらに生産予定のアイテムが4つの計8アイテムほどあります。それらのマーケティングと販売を新しいシステムを使って行い、コロナ禍や地方発信での成功企業の一例になるよう、実験的に行ってみたいと考えております。（右上図）すでにBBQ型（参加型）マー

マーケティング・販売プラン

- BBQ型マーケティング ●現在の日本人の特徴/環境を捉えたマーケティング
- 最低限の本社機能に絞り、利率低下を防止 ●コロナ等伝染病が起こった際にも問題が起きない営業形態 ●アウトプット(商品数)の増加 ●新規BtoB営業の停止、代わりに各地域のキーマンでの代行

ケティングの方はSNSで少しずつ始めていて、各界のトップアスリートからもテストへ参加してみたいと連絡をいただいています。

これらを中心に、最小の投資で大きな効果を得られるインターネットやSNSを中心としたマーケティング、リスクをコントロールしつつ即時対応できるような小回りの利くアウトドアスポーツ企業として、今までになかったアイテムを生産していきます。

がんばれ起業家たち！

西条 まちの声

みんなみんな 心がアツイ

多くのメンバーと関わらせて頂いているけど、みんな本当に人が良く、一緒に仕事をされていて気持ちが良い、応援したくなる方ばかり。

これからも一緒に西条を盛り上げよう！



ミーティン・クラフト
池田 広美さん

「SAIJO WAY」

素晴らしい響きですね！

志が高く、いつも輝いておられる皆さまが大好きです、我が愛する西条市を選んでくださって、本当にありがとうございました。

住み慣れた者では見逃しがちな西条の魅力の掘り起しと発信、そして個々の経験や知識を生かした新たな切り口での事業への挑戦、それが今まさに成果を生み出されている事は快挙の一言です。

これからも「SAIJO WAY」に大いに期待しています。



茶道裏千家松柏会
山本 ちさとさん

ユーモアとキュート

何人かのメンバーと懇意にさせていただいております。ここで一句

眉間にシワを寄せたところで1円にもならず

眉間にシワを寄せたところで何も伝わらず

眉間にシワを寄せたところで人は集まらず

常にユーモアとキュートを持って

地域の方に喜んでもらえることに取り組み自分もちょこっと楽しめてズバツと儲けて西条にずっといてくれたらと思います。

楽しんでポチポチで！



エナジー安田 代表取締役
兼ストハン
安田 光孝さん

この街にやって来た侍達

ずっとこの街で生まれ育った私には、この良さがわからない。

しかし彼らは、この西条の良さを見つけ、発展させ、築き、全国に発信していく。

そして西条市が盛り上がる。

すばらしい発想と行動力にはびっくりするばかりです。



PENTA FARM 社長
山内 政志さん

私たちの事業へのコラボやサポートなどで、関わってくださっている地元の皆さんを代表して8人の方にメッセージをいただきました。熱いエールに感謝しかありません！

刺激をくれる存在！

今まで気づかなかった

西条市の風景や人々と出会わせてくれる。

こんな発想あったのか！と思わせてくれる。

新たなトビラを

一緒に開けていってくださっている。

そんなローカルベンチャーの方々には

いつも刺激をもらっています！



むらかみ酒店 店主
村上 陽一郎さん

輝け！

現在、数名のメンバーに店舗運営など様々な形で協力いただいています。

若い起業家の皆さんのエネルギーやアイデア、自分にはなかった新しい視点で地域を見る目に「自分ももう少しやれる」と触発されています。個性派揃いのメンバーが西条で輝き続けるための応援を、今後も行っていきます！



小松オアシス市場
平野 克政さん

これからも 活躍を期待しています！

最近、移住者の方との出会いがとても増えたなど実感するほど、ローカルベンチャーの広がりを感じます。

話すとき必ず共通の知り合いが見つかるようなとても小さい街西条。そんなコミュニティの小ささも生かし、新たな風で西条を元気な街にしてくれています。これからも挑戦し面白い西条にしたいですし、私も刺激を受けています！



ホテルオレール西条
代表取締役
高本 安友美さん

ワクワクさせる 起業家たち

僕は、安形さん・高田さんとの出会いで、ずっと住んでたはずの西条市の魅力を2人から教えられています。

今有るものの魅力を引き出したり、新しい取り組みを発想し、チャレンジする人の後押しをする。そんな2人の元に人が集まり繋がって行って、西条がおもしろくなってきているなど実感します！



今井自動車整備工場
今井 博志さん

キッチンカー-事業と野菜の定期便を開始

今は、大きく3つの活動に取り組んでいる。1つ目は、ローカルベンチャー事業のコーディネーターとしての起業家支援。メンバー1人1人の個性を大事にしながら必要なことをアドバイスし、気持ちよく事業を推進してもらえよう関わっている。2つ目は、「西条やさい便」のプロジェクトの推進だ。コロナがきっかけで始まったプロジェクトだが、農家さんやお客様のご支援もあり1年間でのべ約300箱のやさいセットをお届けできている。農家さんが作った野菜を高田がコーディネートして消費者にお届けするシンプルな仕組みだ。農家さんは新鮮な野菜を都心部に配送でき、消費者は顔が見える農家さんから新鮮な野菜が届き食卓に彩りが生まれている。

最後は、キッチンカーでのベトナムのサンドウィッチ「バインミー」の販売。メニュー開発から販売までを行い、エスニック料理がなかなか食べられない西条市で、手軽にベトナム料理が食べられる文化を創り出している。

わたしの数字

0回→8回

キッチンカーをDIYした回数

0箱→300箱

西条やさい便発送回数

今後はキッチンカーとやさい便に力を入れていきたい。キッチンカーでは、新しい取り組みを生み出している。例えば、西条農業高校の学生と青パパイアを使ったサンドイッチの商品開

発。高校生と何かを作り出すのは初めての経験だが、彼らの発想から学ぶことも多く、勉強させてもらっている。5月にはイベントをして販売をする予定だ。また、市内外の店舗などが主催するイベントに呼んでもらうことも増えてきたので、相手の期待を超えるような成果を生み出していきたい。やさい便に関しては、もっと多くの方が知り、関わってもらえるように努力していく。1年目は300箱の販売を達成したので、2年目は500箱、3年目は1000箱を目指す。また、買ってくれた方など、やさい便のコミュニティに関わってくれた方が実際に西条に来てもらえるような仕組みも構築するなど、西条の野菜で繋がった輪を大きくしていく。



キッチンカーと野菜で人の輪を広げる

AKI's KITCHEN 店長 高田 裕明

大保木地区を、未来へ繋ぐ活動

西条市の山間部「大保木地区」がこの先もあり続けることを目的として、地域のキャンプ場「石鎚ふれあいの里」の運営、空き家活用、地域滞在体験の3つを軸に事業を行っています。まず、石鎚ふれあいの里では、2020年度から施設の宿泊・食堂部門の運営を担いました。コロナ禍でのオアシス的な役割として多くの方に山を楽しむていただくという最低限のことはできたと思います。具体的には、施設案内ファイル、場内MAPの作成、HPリニューアル/物販棚、薪棚の設置/食堂新メニュー開発、お弁当事業スタートという取り組みを重ねました。次に、空き家活用事業では、1軒の空き家を活用して「みんなでShu-rakuプロジェクト」という企画を夏頃から

開始。都市と田舎の距離を縮めることを目的の1つとし、参加者は自然を楽しみながら空き家をDIYする過程で地域の方と交流し、集落の一員のように助け合える関係性の構築を目指しています。最後に、地域滞在体験事業では、1年間で5名の学生が石鎚ふれあいの里を拠点に地域に長期滞在し、イベントや地元住民の手伝いを行ってくれました。その中で1名の学生と協力して滞在プログラムを作成。地域の方にも協力をお願いし、今

わたしの数字

12万円→630万円

売上。石鎚ふれあいの里の運営受託、研修事業の受託などで大きく伸びました。

0→7

スタッフの数

後の受け入れ態勢を整えました。2020年度は至らないところもなく、引き継がれてきた石鎚ふれあいの里という場所を守っていくことで精一杯でした。他にも多くの方のサポートを得てなんとかやり切ることができました。まずは今年の反省から運営体制等を見直し、2021年度は+αをつくる、本当にチャレンジの1年にしていきます。一方で個人としては狩猟免許取得をはじめ山菜採りなど、山で生きていく知恵を多く吸収しました。それらを活かして地域の資源を使い、多くの方に愛される場所をつくるという原点に立ち返り、大保木を楽しめる新たなプランをたくさん提案します。ふれあいの里HPやSNSにて告知していきますので、ぜひご覧ください。



山で生きる。愛される場所をつくる

合同会社さとらふ Sports Activity Community Director 田村 裕太郎

地域・市民・企業に密着した食の地域商社づくり



西条の「食」を担う1歩を踏み出せた1年

カドル
cuddle Food director 長尾 愛里

地域密着、市民密着、企業密着の良い意味での「3密」食の地域商社づくりを目指し、主に食品コンサルティング事業・食品卸事業を組み合わせ活動しています。屋号が意味するように、常にその地域や人に寄り添ったサポートを心がけて活動中です。

食品コンサルティング事業では、商品開発や販路開拓サポート、地域産品ブランディングなどを行っています。それぞれの案件に合わせ、様々な課題解決案を提案し、新たな地域の「食」の魅力を作っていくようサポートしています。

食品卸事業では、西条や県内・瀬戸内の食品加工品や野菜・果物を小売店に合わせてご提案し、仕入れや在庫管理、売り場作りのお手伝いをしています。

主な取引先は小松オアシス様、ふるさとマルシェ様（フジグラン西条）、イオンモール新居浜店様など。時折、東京の小売店にも納品しています。また、コロナをきっかけに有志で「デリサボ西条」を立ち上げました。「西条の食を豊かにするお手伝い」を目標に、在庫過多になってしまった農作物の代理販売、デリバリー事業、テイクアウトマルシェ、地産地消キャンペーン事業などを行ってきました。

わたしの数字

1 → 4 倍 売上が昨年度の4倍に。400万円を超えました！

10 → 150 卸の取引商品数が150を超えました！

今年9月で任期終了となるので、ま

ずは独立に向けて売上を伸ばしていきたいです。食品コンサルティング事業では、より多くの案件の受注・対応を。また、各売り場に合わせた商品開発も形にし、西条のお土産の代表になれるようなものを生み出したいです。卸事業は、ありがたいことに今後も卸先が増えていきそうなので、商品知識や生産者とのつながりをもっと増やし、デリサボ西条では、この流れを絶やさず、世の中の流れを見ながら、その時流で必要なサービスや食の機会を、必要な時に供給できるよう、柔軟に活動していけたらと思っています。また、今までは比較的受注型の事業がメインでしたが、今後は少しずつ自分が表現したいものも生み出し、販売していけたらいいなと思っています。

西条の農産物を使った、キッチンカーでの移動販売



キッチンカーで西条の美味しいをお届け！

ららジュース 店主 野口 あすか

2020年5月、新型コロナウイルス流行の中キッチンカー営業をはじめました。軽トラの上に小屋を載せたキッチンカーは自分で設計し、大工さんと自分で作り上げました。コロナの影響でイベントの数が少なく、出店場所に困りましたが、丹原のジャム店 グランバス ツリー grandpa's tree さんの声掛けをきっかけに、場所借り出店を始めました。今はそちらの他、もぎたて倶楽部、小松オアシスマーケット、いとまちマルシェ、キャマラド、明勝寺さんなど6か所で販売させていただいています。定期イベントではフジグラン西条の「ふるさとマルシェ」に出店。「はじめての場所にはなるべく出て知ってもらう」を目標に新居浜や四国中央のイベントにも頑張ってお店しました。

イベントの少ない中、農園ヨガや果物狩りなどの、屋外での小さなイベントも農家さんと共催。それぞれの農園の果物を使ったジュースを作り、農業体験しながらジュースも楽しむという形を作ることができました。

商品は、ジュースのほか、grandpa's tree さんとともに開発したかき氷・ジャムを使ったホットサンドなどの販売、コロナ禍で困っている方々の商品の委託販売などをしました。売上の際には大変な1年でしたが、西条の春夏秋冬を経験することで「西条産の果物」の生産状況がわかり、農家さんとのつながりもできました。何より出店を通じた多くの方と出会いは、コロナ下の中ということもあって、すごく特別なことに思えました。

これからは西条産の野菜を使った

わたしの数字

0回 → 5回 農家さんとコラボ・イベント共催回数

0人 → 640人 ららジュースのSNSフォロワー数

スープなど食事メニューにも挑戦し、お客様に喜んでもらいながら、売上も上げていきたいです。通年提供できるジャムや、はだか麦のラスクなど、知り合いの加工所さんの製品も生かしたスイーツも提供したいと考えています。農家さんとのイベント共催や店舗さんとのコラボ（店先出店、商品開発等）を強化し、お互いにとってWIN-WINになるいい関係をしっかりと作っていけたらと思っています。

AIを活用したレシピ提案・食材配達サービス



「生きる」を楽楽に！

delifit おいしいと健康をAIする人 山中 康寛

愛媛大学の健康栄養学の丸山先生と学生、地域資源マネジメント学科の淡野先生と共同研究を行いながら、地域で採れる食材から作れるレシピを、AIを使って一人一人に提案するサービスを開発しています。

食べたい食材や栄養バランス、料理の特徴を基にその人に合ったレシピを提案し、調理に必要な食材を宅配することで、「おいしい」と「健康」をお届けする仕組みづくりをしています。食材は主に産直の周ちゃん広場さんから調達して、地域の農業団体の方々に梱包・発送までをお願いしています。開発では、インドの開発チームと一緒に販売サイトを構築中。コロナの拡大で全く作業が捗らない時期があったり、今でもリモートワークで制約が

あったりしますが、作業を分散して見える化しながら取り組んでいます。お客様にとってのメリットは、献立や食材の購入にかかる労力や時間を節約し、生産者さん自慢の新鮮な食材で美味しく健康的な料理を作って楽しむことができるようになること。農家さんにとっては、新たな販路を得て所得を改善するとともに、自分が作った食材がお客様の「健康」と「美味しい」に貢献している実感を得ることで、やりがいを高めていける。

わたしの数字

4万件
1
10兆

現時点で解析した
レシピ数4万件的レシピを3つの
組み合わせでベストな組
み合わせを選べる確率

そんなサービスづくりをしています。サービスをなるべく早い段階で公開したいと思いながら、技術的な課題などから変更点が増え、なかなかできない状態が続いています。でもここで、しっかりと開発を進め、まずは週に100人のお客様がお買い物ができる状態を目指します。その状態で十分なリピート率と顧客単価を確保できるようにサービスを改善し、リピート率が達成されたら規模を拡大していきます。

こんな、お客様も生産者さんも「楽しく」「楽ちん」になる。そんな、『生きる』を楽々に』するサービスに育てていく予定です。現状は、サービスを形にしていなくて足りないことだらけですので、ご興味のある方がいらっしゃれば、ぜひご連絡ください！

商品を通じて地域に関わる人を増やす

以前携わった移住促進事業での経験から、「地域と人の関わり方」に興味を持ち、約2年前に西条市へ移住してきました。現在は、商品開発や場づくりを通して「地域に関わる人を増やすための仕組み」をつくっていきたく活動しています。第一弾の商品として、「放置竹林を活用したメンマ」を開発しました。私自身が感じていた「里山の風景の悪化」を商品開発で解決したいテーマとし、今後、収穫・加工・消費までたくさんの方に関わっていただける商品に育てていきたくと思っています。商品は、「ちょっと新しいメンマ『メンマチョ』」として、3月～4月にクラウドファンディングでの先行発売を実施し、5月からは西条市内や近隣地域で一般発売を行

います。これと並行して「メンマチョプロジェクト」を他地域へ展開するための方法を検討しています。

また、竹林を活用した商品の第二弾として、間伐した竹を粉砕してつくる、通称「竹パウダー」の活用を考えています。今年度は家庭用コンポストとして実験を行っていましたが、これを食品ロス問題と掛け合わせ、地域内循環で完結できるような「ぼかし肥づくり」を計画しています。来年度は今までの実験をベースに、スケールアップしたモデルケースを実施し地域内に広げていけるように進めていきます。

ここまで、商品開発に軸足を置いて進めてきましたが、事業のもう一つの軸である中長期滞在施設の開業も社会情勢を見極めながら少しずつ再開し

ていきます。この施設は「ワークアウェイ」という仕組みをベースとし、地域の外から来た方が滞在しやすい場の提供と、滞在中に地域との接点が増えるような仕組みづくりを目指しています。移住の動機である「地域と人の関わり方」についての実験の場としてより豊かな体験が提供できるよう機能させていきたいです。

地域おこし協力隊は退任という形になりますが、変わらずこれらの事業を進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いたします！

わたしの数字

0→1

加工品の製造に試行錯誤しながら、初の商品「メンマチョ」を世に送り出すことができるようになった1年でした！

なぜメンマ？ 里山の風景を守るため。

Hinel 代表 山中裕加



My "LOVE SAJO"

巻末コラム集

西条

わたしと



仙石 一大

近隣の小河川

野蒜、クレソン、芹、菜の花、葛、金針菜、エシャレット(脱走)、大根(脱走)、里芋(脱走)がたくさん生えていて季節の食材に困りません。少し上流へ行くと春はタラの芽も大量に採れて、最高です。



大須賀 一仁

CIL星空の宇高竜二さん

良き相談相手の宇高さん。悩んだ時や頭の整理をしたい時、とっても聞き上手に相手をしてくれ、よく聞いてから考えを言うてくれます。一緒にまちあるきツアーもやりました。ラーメン亭の焼飯を持って急襲されるのが楽しみです。

全員、移住してきて2年以上が経過。各自が好きな西条の「ひと・もの・こと・場所」を紹介します。お世話になっている人、癒しの場所、おいしいスポットなどなど。西条での暮らしを楽しみながら事業に励んでいます。



安形 真

俺の西条カツ丼打線

- 1番(遊): 中華 淑々
- 2番(中): ロン
- 3番(三): かつ福
- 4番(一): ももくり3年柿8年
- 5番(右): ごかく
- 6番(二): はしもと食堂
- 7番(捕): ドライブインふじ
- 8番(左): 花農
- 9番(投): アルバトロス(DH): マルブン小松本店

西条のカツ丼は個性があって素晴らしい!



上田 公彦

まちから近くの自然

午前中いっぱい農業のお手伝い、午後から放置森林の伐採作業、夕方にふらっとサンセット SUP。のんびりとした時間軸の中、1日の中でまちから近くでめまぐるしい体験が出来るのが、西条市の魅力です。



山中 康寛

ばあちゃんち

祖父母の家。子どもの頃から休みのたびに遊びに来て、夏には庭や畑で親戚の子も一緒にプチキャンプしてました。お盆には親戚みんなまでバーベキューとそうめん流し。去年はコロナで無くなってしまいましたが、またみんなで楽しく遊べる日が戻ってきますように。



鈴木 直之

癒しの酒処 ひよっとこ

西条に来たばかりの頃からお世話になっていて、西条祭りも一緒にやらせてもらってます。一人でカウンターに座ると、勝手に料理を出してくれるところが好きです(笑)。コロナ禍で営業が厳しかった時はZENの仕組みで支援させていただいたりもしました。



古賀 あつみ

柑橘大国愛媛は 本当にすごかった!

柑橘類の種類の豊富さにビックリ!産直へ買い物に行くたびに、世の中には、こんな名前の柑橘類があったのか!と、新しい発見があり、愛媛の底力を目の当たりにしました!(笑)ちなみに私の一押しは、姫まどんなど、小春と甘平です♡



高田 裕明

私と西条と家族。

家族で行ける場所が多い西条。ブルーベリー・いちご・ぶどうなど、果物狩りで旬の果物がすぐに食べられる。僕は食いしん坊なので、いちごは100粒、ぶどうは3房以上食べます。いつも食べすぎてしまう要らないと思うけど、翌週には行きたくなるのが不思議。



山中 裕加

静かな瀬戸内海

普段は山の麓の里山で、猿や虫と共存しながら楽しく暮らしていますが、西条はアクセスしやすい川や海もあって、今回選んだ写真の場所には息抜きに立ち寄ります。大体誰もいない(笑)。静かにくつろげる素敵な浜辺です。こんな浜辺、なかなかないのでは!



長尾 愛里

わたしの飲み仲間

いつも心配してくれて、野菜や果物を恵んでくれる、わたしの西条のおじいちゃん(お父さん?)であり、飲み仲間でもある、サイクスのマネージャーの徳永さん。合言葉は「今日空いとるか? 駅前来んかい」



田村 裕太郎

人口0人の東之川集落

大保木地区の最深部、既に人口0人の東之川集落です。広大な範囲に渡り見事に石垣が生まれ、多くの空き家や畑の跡が残っています。どんなに素晴らしい場所でも一度なくなってしまえば復活させることは難しいことを教えてください。



野口 あすか

granpa's tree 山内麻美さん

「うちのお店の前で出店しませんか?」と、困っていた私を誘ってくれた人。お互い小さな子どもを持つお母さん・起業したての女性同士ということで本当に助けられました。丹原仲間の金光史さん(農家)が撮ってくれたこの写真もお気に入り!

Contact List

各起業家の最新情報・お問合せ先はこちらからご確認ください。
ホームページや SNS にリンクしています。

安形 真

一般社団法人リズカーレ
ホームページ



上田 公彦

西条アウトドアサービス
Instagram



大須賀 一仁

東予人
Facebook



古賀 あつみ

いまここ健康生活 Lab
ホームページ



鈴木 直之

ZEN
ホームページ



仙石 一大

INFINITY PEAKS
Facebook



高田 裕明

AKI'S KITCHEN
Instagram



田村 裕太郎

石鎚ふれあいの里
ホームページ



長尾 愛里

cuddle
Instagram



野口 あすか

ららジュース
Instagram



山中 康寛

delifit
ホームページ



山中 裕加

Hinel
ホームページ



一般社団法人リズカーレ

793-0030 愛媛県西条市大町 1699-3 エストソレイユ紺屋町 1F

TEL : 0897-39-9214 代表 : 安形 真

Website : <https://riscare.or.jp/>

この冊子は 2021 年 3 月末時点の内容です。